

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	3	平 野 武 志	
<p>1. 木古内町「町民栄誉賞」の条例・規則の改正について</p> <p>長い歴史の中で、木古内町出身者や木古内町に所在する団体や個人がスポーツや文化活動で幅広く功績を残しています。</p> <p>様々な活動において、広く町民に敬愛され、町民に明るい希望と活力を与えるとともに、木古内町の名声を高めることに貢献している個人（団体）を讃えるための条例・規則だと思えます。</p> <p>しかし、これまでに該当者が出ていないのが現状です。</p> <p>今後、町民が木古内町への「愛郷心」を強く持ち、更なる活躍や貢献していただく事を考えると、多くの受賞者を選考できるような条例・規則に改正するべきだと考えます。</p> <p>町長の見解を伺います。</p> <p>2. 人口減少対策の具体的取り組みについて</p> <p>人口の減少（少子高齢化）は、全国的にみても深刻な推移調査の結果が出ています。特に地方の人口が少ない自治体は、将来的に町の存続さえ危ぶまれています。</p> <p>我が町、木古内町においても同様に積極的な人口減少対策が求められており、対策の先進している自治体に追いつき、追い越せの心づもりの施策を提示していただきたいと考えます。</p> <p>平成27年12月定例会の一般質問と同内容の項目もありますが、その後の検討内容と併せ、特に子育て世代をターゲットにした移住対策に力を入れるべく下記の対策案について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 空き家バンク制度の策定 (2) 出産祝い金制度の導入 (3) 保育料・学童保育の無償化 (4) 小・中学校の入学祝い金制度導入 (5) 義務教育期間の教材費全額助成 (6) 高校生までの医療費無償化 (7) 移住者への住居や車両の助成制度</p> <p>また、現状（若しくは施策実施後）の制度PR用のまとめ冊子（パンフレット）の作成をするべきと考えます。</p>			<p>町 長</p> <p>町 長</p>